

竜の子 奨学生

TATSUNOKO NEWSLETTER



第32回交流会 (OB・OG会)



Contents

- P.2 第31回交流会レポート
(東京文化研修)
- P.4 第32回交流会レポート
(OB・OG会)

その夢は、きっと世界を変えていく
The dream surely changes the world.



第31回交流会 (東京文化研修)



SPECIAL REPORT (タイ王宮の宮殿)

- P.5 OB・OGからのコメント
- P.11 竜の子近況報告
- P.14 SPECIAL REPORT
- P.16 編集後記

第19号
Mar.2017

Tatsunoko Foundation

公益財団法人 竜の子財団

第31回交流会レポート（東京文化研修）

第31回の交流会は東京で行ないました。東京駅に集合し、江戸東京博物館を巡り、昼は屋形船で食べました。午後は三味線や琴を体験したあと、スカイツリーの展望台で景色を楽しみました。最後に夕食は月島でもんじゃ焼きを食べました。竜の子奨学生の皆さんと東京文化研修ができて本当に良かったです。

竜の子財団の交流会はいつも楽しみです。今回の交流会は東京文化研修でした。東京は普段生活しているものの、今まで観光を兼ねた文化研修をしたことはなかったので、この交流会のおかげで、東京の文化研修ができてとても良かったです。

午前9時15分、東京駅八重洲中央口集合で、駅に着いたら竜の子財団の旗が見えてきました。そして日本各地から参加する竜の子奨学生達が見えました。みんな元気な顔で、楽しそうに話していました。それぞれ交流会のスケジュールを受け取って、研修場所を確認しました。今日は江戸東京博物館、屋形船、三味線および琴の体験、スカイツリー展望台、月島をめぐる日程でした。行先を確認しただけでもますます期待が高まりました。全員揃ってからバスへ移動するときも、久しぶりに会ったので話は止まらず、楽しい交流会が始まりました。

午前中は江戸東京博物館見学に向かいました。江戸東京博物館は東京の歴史と文化に関する資料を収集、保管、展示する目的で開館されたところです。館内の規模は大きく、大量の資料が綺麗に展示されていたので驚きました。そして主に江戸ゾーンと東京ゾーンに分けられていて、館内を説明してくれるボランティアの方々もいました。見学中にはボランティア歴20年のベテランの方に詳しく説明して頂くことができ、展示品に対する理解が深まりました。また展示品だけではなく、館内を楽しく見学できるように体験スペースや撮影スポット等が多くあったので、みんな



昔の自転車に乗るテヒョンさん

で写真を撮りながら、楽しく見学することができました。特に、東京ゾーンでは昭和時代の日本を復元した展示もあって、レトロな日本の家の中や町を見ることができ、当手を想像することができました。



屋形船の昼食中にみんなで

昼食は屋形船でお刺身と天ぶらを頂きました。屋形船は食事と観光が同時にできる船でした。今回は食事の間、屋形船で江戸川乗船場からお台場のレインボーブリッジまでのコースを回りました。この2時間ほどの間、美味しいお料理が次々と登場し、外の景色を眺めながら、料理を味わうことができました。食事が終わった頃にはちょうどお台場のレインボーブリッジが見えるところに船を停めてもらって、船の屋根に登ってみんなで写真を撮ったり、ゲームをするなど自由に船上を楽しみました。船の屋根で浴びる温かい陽ざしや風が最高に気持ち良く、日々のストレスを吹き飛ばしてくれました。



お台場を眺めながらみんなで写真撮影

午後は三味線と琴の体験がありました。まず、琴の体験では、先生達の演奏を聴いてから学生が実際に演奏する体験時間が設けられました。体験では「さくら」という曲を演奏しました。「さくら」は初心者でも演奏できるように簡単な楽譜になっていたのも、みんなが楽しく演奏することができました。三味線の体験では、いきなり曲を演奏することはなかなか難しかったのですが、目の前で先生達の演奏を聴くことができ、光栄でした。



琴を体験するサドラさん

楽器の体験後には、近くにある浅草の雷門に寄って集合写真を撮りました。短い距離でしたが、みんなと浅草を歩くことができ、良い思い出となりました。東京スカイツリーでは展望台観覧がありました。まず、1階でみんなと東京スカイツリーを背景とした団体写真を撮った後、展望台の最上階まで登りました。今までスカイツリーの展望台に登る機会はなかなかなかったのですが、今回初体験で最上階までのぼることができて、とても嬉しかったです。最上階は高さ450mで、東京スカイツリー展望回廊と言い、丸くなっている廊下に沿って散歩するコースになっていました。廊下の窓は少し空いている部分があって、すぐ外と繋がることができました。高さ450mで風を浴びていると、まさに空の庭園にいるように感じました。高さのせい少し緊張感もありましたが、東京の景色を眺めて綺麗だと思いました。次に高さ350mの東京スカイツリー展望デッキでは床が透明になっていて、透明な床の上で立って写真の撮影をするところでもあり、またカフェを楽しむ人も多くいました。

夕食は月島でのもんじゃ焼きでした。月島はもんじゃ焼きで有名なところで、もんじゃ焼きのお店が沢山並んでいました。初めてのもんじゃ焼きでしたが、お好み焼きと違って生地を広げて焼き、それをみんなでちょっとずつ取って食べるのが楽しいと思いました。店内の雰囲気もとても良く、店員さんの元気良さが場が盛りあがって、奨学



浅草雷門でみんなと写真撮影



スカイツリー展望台で、インオンさん、シャリアズさん、権さん、文さん



スカイツリー展望台の透明な床の上で
金さん、方さん、スタシニーさん

生の皆さんと一日中話したのにもかかわらず、話が止まらない夜となりました。

今回の交流会は1日という短い時間でしたが、たっぷりみんなと楽しく過ごすことができました。今まで知らなかった東京の素晴らしいところを経験・体験させていただきありがとうございます。

(担当：平成28年度竜の子奨学生 東京工業大学大学院 朴夏林)

第32回交流会レポート (OB・OG会)

平成28年12月10日土曜日、竜の子財団のOB・OG会が行われました。第1回目のOB・OG会は平成24年に行われ、今回が2回目となります。会場は日本橋三井タワーのワイアードカフェ ニュースで行われました。

午後5時から始まったこの会には卒業生が24人、及びお連れのご家族の方に参加していただきました。OB・OG会の流れは秋元理事長からの挨拶、卒業生の自己紹介及び近況報告、竜の子財団関係者の方々の一言があり、その間に歓談の時間も設けられました。

先輩方の近況報告を聞いてみると、近い人は東京から、遠い人はカナダのバンクーバーから来て頂きました。また、社会に出て活躍している先輩方のお話も伺うことができました。企業に勤めている方が多く、その分野は健康食品から建設工具まで様々でした。起業をしている方も何人かいて、海外企業の日本支社を立ち上げている方や主に中国人を対象とする医療観光のスタートアップを計画している方もいました。また、博士課程に進学している方や子育てをしている方もいて、卒業後は就職することが普通な自分の周りの環境と比べることができ良い刺激となりました。

歓談の時間では、久しぶりに会った竜の子奨学生達は思いつき話や自分の近況を話していました。会場の壁に設置されているスクリーンに過去の交流会で撮った写真が流れていて、思いつき話がより深まりました。



先輩を囲んで歓談

自分も久しぶりにあった現役生や自分が竜の子奨学生になった時に入れ替えて卒業した方々と思いつき話や近況の話ができました。また、卒業した先輩達のお仕事の話も聞かせていただけました。先輩方は自分の進路についても積極的に相談に乗ってくれました。私は博士課程進学を希望していて、また兵役の義務も残されています。博士課程に進学する目的からはじめ、博士号取得後には何がしたいのか、博士号取得においていくつかのアプローチがある



秋元理事長とのお話に夢中



第30回交流会のシーサーが出来上がりました

こと等、質問やアドバイスを頂きました。大学時代から日本に留学した私は、韓国の企業や研究所の事情に接する機会がありませんでした。今回のOB・OG会にて韓国の企業や研究所の雰囲気も聞いて、博士号取得後の将来も考える機会となりました。

会の後半では、竜の子財団関係者の方々からOB・OG会におけるお言葉も頂きました。池田さんからは皆さんの成長している姿を見て嬉しいとお話してくれました。加藤さんからはスキー場にて行われた交流会に関する思い出話をして頂きました。また、椎塚理事からは竜の子財団は自分に元気を与えてくれる場であり、皆さんもリフレッシュしていける場にして欲しいとお話を頂きました。最後に秋元理事長からは、皆さんと久しぶりに会えて嬉しいのと、今年には息子さんがご結婚なされたことについてもお話して頂きました。また、第3回目のOB・OG会はハワイで行えるように頑張るとお話して頂きました。



お言葉を述べる椎塚理事



お言葉を述べる秋元理事長

OB・OG会終了後に会場の近場で行われた2次会にも約30人の方々が参加しました。ここではOB・OG会でお話ができなかった方々との交流がさらにできて、初対面の先輩方とも全然距離感を感じずにそれぞれの国の文化や慣習の違いをお話することが出来ました。

今回のOB・OG会は自分にとって大変勉強になったと思います。その中でも特に自分が経験していない母国の事情を先輩方の経験から聞いたことや、また、異文化を知っていく楽しさが分かりました。この経験を活かして、自分も成長していきたいと思います。この貴重な場を作って頂いた秋元理事長をはじめ、竜の子財団の皆さんありがとうございます！いつも勉強になり、リフレッシュされます。次のOB・OG会を楽しみにしています。

(担当：平成28年度竜の子奨学生 東京工業大学 郭錦表)

第32回交流会 OB・OGからのコメント

竜の子奨学生のOB・OG達は竜の子財団から卒業した後、日本で就職したり自分の学業を進んだり、自国に帰って日本での留学生活から得られた専門知識を活用したり、幸せな家庭を築いたり、みんな自分の夢に向かって確実に進んでいます。今回の交流会では現役生との交流のため、OB・OG達が自己紹介および近況を報告しました。



王小凡
(中国)

一橋大学卒業

今は名古屋で暮らしていて、住友重機械工業のパワートランスミッション・コントロール事業部で、企画管理の仕事をしています。毎月の決算と年度の予算の担当です。今日は四歳の長男を連れて、名古屋から二人で来ました。いま下の男の子は一歳で、家でパパに預けています。二週間前に、下の子の育児休業から職場復帰して、まだ二週間目で、二人の子育てと仕事の関係で、ちょっとグダグダです。久しぶりに皆さんに会えて、とても嬉しいです。今日帰らなければならなくて、寂しいけど、また次回のイベントを楽しみにしています。



孫揚
(中国)

立命館大学卒業

長い間、日本語を使っていないので、なかなか出てこないですよ。私はバンクーバーから参りました。日本の立命館大学を卒業してから、バンクーバーに移住しました。この竜の子財団のOB・OG会のメールをもらってから、一度日本に戻りたいのもあり、ここに来ました。私の仕事は、子育てです。子供は二人で、三歳と六歳、いま私と一緒にバンクーバーに住んでいます。



郭甜甜
(中国)

東京海洋大学卒業

すごく懐かしいメンバーが揃って、嬉しく思っています。私は一期生で、東京医科歯科大学を卒業した後に、経営コンサルティングの会社に一回就職したのですが、その後主人の海外赴任について行き、ロンドンに行きました。一年半ぐらい住んで、そこで娘を生みました。女の子で、三歳になりました。一期生から見ていただいているので、秋元理事長、椎塚理事、加藤さんにはすごくお世話になりました。私の今の仕事も子育てです。娘もそろそろ幼稚園に入り、自分の時間も増えると思いますので、何か社会に役に立つ仕事をしたいと思います。



劉彦平
(中国)

一橋大学卒業

いまは、二人の子育て中です。久しぶりに人前で喋って、緊張します。実は本来主人と一緒に来る予定でしたが、昨日の夜中に変わり、主人は来れなくなって、メールしたのですが、文面が分かりづらくて、ご迷惑をかけてすいません。郭甜甜さんの言ったように、懐かしい一期生の方がいっぱいいて、すごく嬉しく思います。秋元理事長も、皆さんも元気そうで、本当に良かったです。



張 冲
(中国)

立命館大学卒業

今回椎塚常務理事からご連絡いただき、昨夜上海から東京に来ました。いま中国で起業しています。いまやっていることは、浙江省で微生物を中心として環境分野の問題と農業分野の問題に取り組んでいます。そして環境と農業を連携して、循環型社会という新しいモデルを作っています。簡単に言うと、環境分野のほうは、有機廃棄物の処理です。人間と動物と植物の有機廃棄物、人間は生活ごみ、とくに農村の生活ごみを発酵することによって有機肥料にする。そしてその有機肥料をもう一回土壌に戻して、土壌を豊かにするビジネスをやっています。特にこの三年間で、中国の政府から注目されており2014年に、中国の「千人プロジェクト」という政府のプロジェクトで採用され、政府からの支援もたくさんあり、いま事業は順調に進んでいます。今日は本当に自分の家に帰った感じがあり、懐かしく思っています。そして秋元理事長から頂いたたくさんの励ましの言葉が、私のビジネスの大きな原動力になりました。



宋 昌錫
(韓国)

東京大学卒業

私は東京大学の卒業生で、ドクターを取って卒業後、日本の建築関連の企業で仕事をし、一昨年からは別の外資企業で仕事をしています。やっていることは、同じく建築関係です。前回のOB会はたしか2012年ですね、子供がまだ小さい頃（二歳か三歳ごろ）に参加しましたが、その子も今では大きくなりました。そして今回またOB・OG会をやるとの嬉しい連絡を頂いて、今日も参加しました。この後、皆さんとゆっくり話したいと思います。



孫 敏華
(中国)

東京大学卒業

私は卒業して、現在東京医科歯科大学で再生医学分野の仕事をしています。現在はCTLをしています。CTLというのは、患者さんから血液を取って、その中のT細胞を専門的なすごくきれいな環境で培養して、そしてまた患者さんの体に戻すことで、治せない病気を治すというすごく先進的な医療です。いまはまだ医師の勉強して、国家試験の準備して、これからも毎日勉強しながら、すごく充実した生活を過ごしています。まだ独身です。でも寂しくない（笑）。



羅 宏勝
(中国)

慶応義塾大学卒業

今やっている仕事は、IJという会社で、SEをやっています。毎日忙しくて、あまり家に帰れない状態です。隣の人は妻です。専業主婦としてコンサルティングの仕事をしています。と言うのも実は恋愛のコンサルティングをやっています。僕より二倍三倍の時給を貰っています。羨ましくて、今の仕事を辞めて同じ恋愛コンサルティングを仕事をやりたいと思います（笑）。

**林 熙龍**

(中国)

電気通信大学卒業

竜の子財団を卒業してからそろそろ三年となりました。いまは日立製作所のエンタープライズソリューション事業部でシステム開発の仕事をしています。また一昨年の三月に娘が生まれ初めてにパパになりました。これからは仕事だけじゃなくて、家族の妻と娘を幸せにして、頑張りたいと思います。

**ガンバータル
エンフジャルガル**

(モンゴル)

立命館アジア太平洋大学卒業

モンゴル出身のガンバータルエンフジャルガルと申します。職場でジャリと呼ばれますので、皆さんは呼びやすいほうをお願いします。2010年に卒業しまして、ローソンで働き、いまは楽天で働いています。一年ぐらいは営業センター務めの事務局ですごく暇な生活をしています。皆さんは楽天市場を使う事があると思いますが、何をどこで買えばいいかの良い情報を教えますので、是非私まで連絡をお願いします。

**李 双春**

(中国)

東京電機大学卒業

竜の子財団を卒業してから三年になりましたが、まだまだ皆さんの顔を覚えています。今の仕事は、車のゴムの部品会社です。タイヤなどのゴム製品ですが、多分あまり分からないと思います。もし興味がある方は、私に連絡してください。あと、一つ報告したいことがあるんですが、一昨年の三月に結婚しました。いま奥さんのほうは、海外研修で今回来れなくて残念です。是非次回このようなイベントがある時には、皆さんにご紹介できればいいと思います。

**李 大英**

(韓国)

北海道大学卒業

私は北海道大学出身でして、2010年の寒い時期に椎塚理事が北海道に来ていただいて、面接を受けました。その後五年間竜の子財団にお世話になって、無事に卒業しました。いまは京都の日本新薬という会社で仕事をしています。ずっと健康食品に関することをやっています。女性には美容に関すること、男性には筋肉を増やす素材を見つけることに注目しています。こういう夢を持っているいい会社で働いていますので、かなり竜の子財団には感謝しております。



朱 震
(中国)
京都大学卒業

2012年から2014年まで、竜の子財団でお世話になっており、京都大学卒業してからはスマートフォンゲーム業界という恐ろしい業界に入ってしまった、そのあとは、2年ぐらい働いて、今は中国のゲーム会社の日本支社の立ち上げをやっています。やっぱり、この業界はなんというか転職するたびに、仕事の量が増えますね。あらためて実感できました。もし、この業界に入りた方がいましたら、是非、じっくり検討した方がいいと思います。でも、ゲームが好きな人にとっては最高の職場だと思います。今は、立ち上げと言っても実は二人しかなくて、いろいろ雑用をしながら、中国の技術力と日本の企画力を合わせて一本いいゲームを作っています。是非楽しみにしていただけたいと思います。



リム ヤンクアン
(マレーシア)
名古屋大学卒業

名古屋大学を2014年に卒業しました。アイシン精機という部品メーカーの会社で働いています。品質保証部という商品の部署にいますので、市場環境とか、市場で起こっているクレームの対応をしています。すごく忙しい部署になります。最近、婚約しましたので婚約者はいま一緒にそこにいます。今回OB・OG会ということで新しい顔の皆さんとあえたので今後ともよろしくお願いします。



杜 銘雨
(中国)
立命館アジア太平洋大学卒業

私は2012年に卒業して、2013年から東京で働き始めました。今は富士通で主にクラウドサービスの仕事をしています。本業以外に興味でもいろいろやっていますが、一つ自分の宣伝になるんですけど、外国人向けのキャリアセミナーをしており、今回2回目でキャリアコンサルティングを専門として仕事している方と一緒に企画しています。私は、日本に留学して就職した経験があって、同じような経験を持つ外国人の方にもっとこれからどういうふうに働けばいいのかとか、キャリアについていろいろ話を聞ける場を提供したくて、今回のイベントを企画しました。私も竜の子財団の支援をいただいて今にいたったので、日本で働いている外国人を支援できたらと思ってイベントを開催しています。それ以外にも、まだ全然企画段階ですが、IT系のスタンドアップを考えていて、開発などを行っている方とかいけば是非、相談させてください。エンジニア募集中ですので、旅行系のIT系ブログなど作りたいです。興味ある方は是非声をかけてください。



金 恩河
(韓国)
筑波大学卒業

私は2011年から今年の3月まで5年間と長くお世話になりました。今年はいろいろありまして、隣は旦那ですけど、竜の子財団に入って1年目の時に旦那と結婚し、私は日本で旦那は韓国で5年間別々で暮らしていました。お腹の赤ちゃんも今年の1月に生まれる予定で（無事生まれたそうです）、今年からは韓国で一緒に暮らせるようになりました。また、先が見えない博士課程がもうそろそろ3月で終わり、ちょうど昨日論文を提出しました。いつも博士課程の竜の子奨学生の皆さんと、そういう話をしていたんですが、「暗いね、なにも見えないね、終わらないね」と言っていたんですけど、やっと終わる日が来るんだという思いになりました。旦那も昨年8月に学位をもらって韓国の自動車会社の研究部で働いています。旦那は日本語は話せないけど、韓国語と英語では通じると思うので声をかけてください。



王 俊紅
(中国)

北海道大学卒業

北海道大学の卒業生で、2013年卒業してから上海理工大学で就職し、ちょうど3年目になりました。昨年4月から今年の4月まで中国の海外派遣プロジェクトに採用されまして、今は、大阪市役所に派遣されました。卒業論文を発表する前に、本当に死ぬほど疲れました。今は、自分で日本の市役所で勉強していますが、そこで学んだこと感じたことを教育を通して自分の生徒たちにも伝えようと考えています。実は大阪で生活するのは初めてなんですけど、関西の文化はとても面白くて、日本のもう一面を見ることができてとてもいい機会になりました。今年上海に戻りますので、大阪や上海に遊びに来たら是非声をかけてください。



朱 琳
(中国)

東京外国語大学卒業

2013年から2015年まで竜の子財団にお世話になっていました。今は、IT業界で働いています。もともと自分の希望ではなかったのですが、やってみると意外とやれる仕事で今はすごく毎日元気でやっています。今の職種はPM（プロジェクトマネジャー）です。もう2年目ですけど、研修がすごく長くて1年間ぐらの研修を経て昨年の3月にやっと配属されて、まだまだ新人で、毎日間違いが出ないように頑張っています。最後ですが、すごく懐かしいメンバーを集めていただけてすごくありがたいです。お互いのつながりを大事にしてこれからもがんばりましょう。



魏 登輝
(中国)

東京外国語大学卒業

わたしも2012年に竜の子財団を卒業してそのまま日本でずっと働いていて、今はサラリーマンです。仕事は、輸出入に関わる、通関とか、ひとことで言うと、貿易会社です。今回、呼んでいただいて、すごく嬉しく思っています。社会人になってからこういうつながりが、いかに大事かと本当に思いました。是非皆さんも一緒に話してこの場を盛り上げていきましょう。



呂 澄
(中国)

京都大学卒業

京都大学を出て、今は、大阪の方で就職しました。会社は、BASFというドイツの化学メーカーで働いてまして、部署としては電気自動車用の電池の開発に携わっています。今日は久々に大阪から上京して大学の時代からお世話になっている竜の子財団の方々に会えて、そして、OB会の場で1期生から現役生まで集まる場があって今すごく気持ちがおさまりません。特に、先輩たちが職場で活躍している姿を見ているとすごく感銘を受けています。今の住まいは関西なので、もし来る機会があれば美味しい店を紹介しますので是非声をかけてください。



申 中華
(中国)
東京大学卒業

— 昨年の3月に東京大学博士を卒業して、同時に竜の子財団にもお世話になり卒業させていただきましたが、1年間の研究をやって、昨年3月に就職しました。それに8月、二人目の娘が生まれ、二人のパパになり、家族への責任感が強くなりました。今の就職先は、研究とは関係無く旅行会社です。東京だとよく日帰りなどで利用されているハトバスグループにいます。国際部の営業で、外国の方の問い合わせや、予約した時に斡旋したりと、そういう仕事です。なぜかと言いますと、昔から日本のあちこち（鹿児島から北海道まで）列車に乗ったこともありましたが、本当に旅行業界で働きたかったからです。実はこの先転職することが決まっています。友達がある会社を起業して、同じ観光業でも、社員が70人ぐらいいる会社です。事務職が少なく私を入れても70人中5人しかいないけど、医療観光やビジネス観光などをやっている会社です。もし、これからご利用される方がいたら声をかけてください。



郭 中梁
(中国)
東京大学卒業

僕も2014年から昨年の3月に卒業して4月からしばらく立川の研究所で研究員をやっていました。10月から再び博士コースに入りなおして、人工知能とかホットなトピックをやってます。まだ半年しか経っていないのでそんなに話すことはないのですが、多分これから色々つながりが出来れば良いなと思っています。



王 婭琴
(中国)
明治大学卒業

昨年の3月に大学を卒業して、竜の子財団からも卒業して4月から会社に入って働き始めたのですが、色々ありまして、いまだに研修をしています。自分の将来、これからの計画とかはまだ全然立ててなくて、本当にどうなるんだろうとすごく悩んでるんですけども、今の職場で、自分のポジションで結果が良くても悪くても、自分のベストを尽くして、頑張りたいなと思います。そして、今日のOB・OG会の連絡が来た時にはすごく嬉しくて、待ちに待ったOB・OG会に参加してみんなに出会って、さらに嬉しかったです。竜の子財団の皆さんは本当にみんな優しい方で、就活していた時は、すごく落ち込んでた時期もあり、その時に、相談に乗ってくださった加藤さん本当にありがとうございました。



曹 洋
(中国)
京都大学卒業

本当に、この場に参加することができて心から喜んでます。結構、同期の人がいたので、後でゆっくり話したいと思います。秋元理事長や竜の子財団の方々も本当にお久しぶりです。色々ありまして子供も二人増えまして、京大の博士を卒業してから今は川崎市の聖マリアンナ医科大学の予防医学教室で助教を務めています。昨年の10月から務めたばかりですが、これからは、是非皆様と末長く、お付き合いしたいと思います。また皆さんとゆっくり交流もしたいと思います。

(担当：平成28年度竜の子奨学生 東京大学 王海涛)
(担当：平成28年度竜の子奨学生 筑波大学 周英賢)

竜の子近況報告



空手観戦の時（本人中央）

チン エンライ
陳 行磊（中国・浙江省出身）
 東京電機大学 工学部
 電気電子工学科 修士2年

「研究を頑張っています」

自分の研究成果を学会に提出するため、一生懸命研究をしています。そして、昨年9月頃、学校からの推薦で、住友林業越谷寮に住むことになりました。家賃が安く生活も便利になることで、心おきなく研究に専念できます。また、この前のOB・OG会で先輩たちと会い、いろいろな就職活動の経験を教えていただいて、とても助かりました。これからも研究と就職活動を頑張っていきたいと思っています。



スピーチコンテストの受賞式（本人右）

マハウオンウィリヤ・スタシニー
 （タイ出身）
 東海大学 教養学部 国際学科
 思想文化学専攻 2年

「挑戦の先に幸せがある」

最近はとても楽しいです。昨年7月にオリンピック英語部門にアシスタントとして参加し、9月に国連グローバルゼミナールに参加しました。また、12月にも児童労働のテーマで学内の英語スピーチコンテストに出場し、3位でした。忙しくても、新しいことに挑戦できて幸せです。今年からゼミを選ばなければならないので、今悩んでいるところですが、頑張っていきたいと思います！



家族と一緒に（本人右端）

ホウ メイ
方 梅（中国・河北省出身）
 九州大学大学院 医学系研究科
 神経内科学専攻 博士4年

「論文を頑張っています」

竜の子財団の皆さん、お元気ですか？この前OB・OG交流会で先輩たちと会い、将来の進路についていろいろな経験を話してくださり、とても助かりました。私の臨床研究室は改装工事があるので、今年1月移転に向けて、現在はサンプルと資料の整理を行っております。私は昨年10月中旬から卒業論文を書いて、実験もどんどん進んでいきますので毎日忙しく過ごしています。6月の前までに投稿するために、いま一生懸命努力しています。



普段研究室で生活している姿

バク ハリン
朴 夏林（韓国出身）
 東京工業大学 生命理工学研究科
 生物プロセス専攻 修士2年

「ラストスパートです」

昨年12月は内定先の忘年会に行ったり、研究室の忘年会の準備として大掃除をしたりしていました。翌月は修論の提出があるので、論文を書いたりデータをまとめたりしながら毎日忙しく過ごしています。そして少し疲れたときはSNSでみなさんの活躍する姿を見ながら微笑んでいます。

1月に無事に論文の提出ができ、2月は発表で修士としての仕事は一応終わりになると思いますが、そう考えると少しさびしくなったりもします。なので、やるべきこと、やりたいことに最後まで最善を尽くして、悔いが残らないようにしたいと思います。



病院に入院していた時に撮った夕焼け

ジョ ヨンシル
周 英實 (韓国出身)
 筑波大学 人間総合科学研究科
 感性認知脳科学専攻 博士3年

「卒業に向けて頑張ってます」

先日のOB・OG会には参加できず、楽しみにしていた皆さんとの出会いが叶わず、とても寂しかったです。こうやって近況報告を通して少しでも皆さんと交流することができ嬉しいです。私は、博士論文を提出し、翌月の本審査に向けて頑張っています。また皆さんと会えることを楽しみにしながら、卒業に向けて頑張っていきたいです。皆さん、健康に気をつけて今年も一緒に頑張りましょう！写真は、病院に入院していた時に撮った筑波の夕焼けです。一番時間がゆっくり流れ、当たり前ことができず、普段なんとも思っていなかったいろんなことに感謝する機会になっていた時のこの気持ちを忘れないようにしようと思い、撮った写真です。



キャンパスにて本を読んでいる私

オウ カイトウ
王 海濤 (中国・重慶市出身)
 東京大学 情報理工学系研究科
 電子情報学専攻 修士2年

「卒業論文を頑張っています」

日本に来てからもう二年間以上経ちました。楽しい時間はいつも早いです。そろそろ卒業の準備も始まるはずですが、残念ですが、卒業論文の提出期限は中国の新年～春節と近いので、今回の春節は帰国しないと思います。

昨年の春は、中国と日本のどちらで就職するか迷ってしまっていて、就職活動はちゃんとできませんでした。でもやはり日本で就職するのはせっきくのチャンスと思うので、今年はまだ一度就職活動に挑戦したいです。これからも卒業と就職活動のため、頑張ります！



大阪にいる台湾人の友達と食事する (本人左)

ラ ベイジン
羅 珮菁 (台湾・台中市出身)
 名古屋大学大学院 生命農学研究科
 生命技術科学専攻 博士3年

「新しい自分に進化します」

10月になってからD3学生になり、卒業期限の接近と体調の不安定もあり様々な辛さを受けましたが、自分の人生にとっては貴重な経験と勉強です。人生のマラソンに挫折があっても、過去の出来事を検討して自らの改善するべき部分を見つけ新しい自分に進化するのは一番大事と思っています。その上、先日のOB・OG会で皆さんの頑張っている姿を見て更に勇気が湧き出しています。今後も良い実験結果と論文を出せるように頑張ります。



日本国際経済学会第75回全国大会

ユルダジェヴ・サドラ・ヌルラエビッチ
 (ウズベキスタン・ダシュケント出身)
 名古屋大学大学院 国際開発研究科
 国際協力専攻 修士2年

「活発な研究時代に入り」

修士2年から様々な会議やセミナーに参加しました。その中で、私の専攻分野として世界貿易の経済と法に最も合うのは日本国際経済学会です。それに、世界銀行の元経済学者の大坪先生から推薦状を提出していただいた結果、学会のメンバーの一員になりました。その学会の第75回全国大会が昨年10月の29日と30日に中京大学にて行われ、初めて参加しました。数々のパネルがあって、研究能力を高めるためにも非常に影響を受けました。私も出来る限り頑張って、次回から発表者として学会に参加するつもりです。



修士論文中間発表中の私

カク クンビョ
郭 錦表 (韓国出身)
 東京工業大学 理工学研究科
 材料工学専攻 修士2年

「卒業に向かって頑張っています」

最近寒くなり、冬になったと感じているところです。この季節は風邪を引きやすいと思います。ご自愛ください。

自分は修士2年生で、今は修士の間行った自分の研究をまとめているところです。研究をまとめるにあたって、まだ追加実験等やることは沢山ありますが、残りの期間一生懸命やっていこうと思います。修士論文をまとめて、卒業をした後は一旦韓国に戻り兵役の義務を終えようとしています。



シンポジウムで発表する様子

ソルヤー (中国・内モンゴル出身)
 東京外国語大学大学院 総合国際学研究科
 国際社会選考 博士3年

「ウランバートル国際シンポジウムへ参加しました」

2016年8月下旬、第9回国際シンポジウム「シルクロードとティーロード」がモンゴルの首都ウランバートルで開催されました。シンポジウムには、日本、モンゴル、中国、ロシア、台湾などの国や地域の研究者100人余りが参加し、私は「ガンジュール廟会とシルクロード・ティーロード」をテーマに発表しました。モンゴル・中国の研究における優れている先生たちからのコメントをいただき、自分が勉強不足と実感し、大変勉強になりました。その後、13世紀のモンゴル帝国をテーマにした13世紀村を見学し、帝国時代の兵士の服を着用体験、遊牧民の生活スタイル見学などができ、ゲルでモンゴル料理を食べました。最高に楽しかったです。



中国 青島 5.4広場

ムン キルジュ
文 吉周 (韓国・全州出身)
 九州大学 工学部研究科
 機械工学専攻 博士1年

「韓国へ帰省」

私は昨年末に韓国へ帰省しました。韓国で家族や友達と楽しい時間を過ごしました。年末休み中には弟と中国の青島に行ってきました。中国でおいしい食べ物やうまいチンタオビールを楽しみました。留学してから初めての長い休みを過ごしてリフレッシュしてから日本に戻って研究や勉強を頑張ろうと思っています。



お正月に筑波山へ登山しました

**チャンポンパックディー
 インオン** (タイ出身)
 東海大学 工学部
 医用生体工学部 学部3年

「研究室を選ぶ時期が終わりました」

昨年12月上旬に研究室が決定しました。研究テーマはまだ決まっていませんが、脳波を用いて障害者が健常者の世界で生活出来るような技術研究をしたいと考えています。今後、春休み中に東海大学付属病院で臨床実習をする予定でいますので、帰国できなくなりますが、大学の生活を楽しみながら頑張ります。



共同研究に応援してくださった方々への訪問

キン ヨウカ
金 香花 (中国・黒龍江省出身)
 京都大学大学院 文学研究科
 思想文化学専攻 博士4年

「マラソンみたいな論文完成」

博士論文完成に向けて走っていますが、なかなか終点が見えない時もあったりします。しかし、途中であきらめてしまったら、今まで走ってきた距離が全てなかったことになってしまいます。最後まであきらめないで決心するのが大事だと思いました。昨夏の学会発表をふりかえりながら、最終の論文のパーツになる発表は、一つ一つ全力で準備したものだったことを思い出します。個人発表はもちろん、共同研究でも発表の業績以上のものを学んでいます。

(担当：平成27年度竜の子奨学生 名古屋大学 羅ベイジン)

SPECIAL REPORT

● タイ人に生まれて良かった ●

平成28年度竜の子奨学生 東海大学
マハウオンウィリヤ・スタシニー

2016年10月14日の朝、ほとんどの店は休み、町中は静かでした。いつも笑顔でカラフルな服を着るタイ人は皆黒い服を着て大きな悲しみに襲われました。なぜなら、昨晩は世界で在位期間が最も長い君主で、タイ国民の皆に敬愛されているプミボン国王が崩御したからです。

その後ある日に友達に聞かれました。

友達：実際に王様と会ったことある？

私：一回もないよ

友達：テレビとか、ニュースで見るだけ？

私：うん

友達：じゃあ、なんでタイ人はそんなに王様のこと好きなの？

その瞬間私は何も言えませんでした。そしてしばらく自分の中で考えました。確かに、実際に会ったこともない人をこんなに尊敬し、敬愛することはなかなかないと思いますが、こう考えましょう。皆さんは、ネルソン・マンデラやガンディーのことを知っていますか？その人たちを尊敬していますか？それと同じです。どんなに遠い所でも、プミボン国王は国民のためならどこにでも行きます。農村地帯を訪れ、貧しい人たちに接し、開発プロジェクトをやったりしていた国の父でした。私の記憶にはテレビで王様が仕事をしている姿を見ない日はありませんでした。王様なのになんでこんなに苦労しているのだろうかいつも思っ

ていました。そこで王様が「タイ人皆家族だから」とおっしゃっていました。

私はその言葉を思い出し、友達に「プミボン国王は私たちの父だから」と答えました。

今までタイではクーデターやデモなどの政治的混乱は何回もありましたが、毎回国民を集めて政治経済を安定させる役割を担ってきたのはプミボン国王でした。それに現在は軍事政権であり、政情不安になり、経済は停滞するのは当然です。崩御に伴う政府からの「30日間の娯楽自粛」の呼びかけで、観光客が激減してきて経済は停滞中とされている人がいるかもしれませんが、街は同じように動いています。父を亡くした子供のように、皆はもちろん悲しんでいます。王様のために何かができる。頑張らなくちゃ」と思い、街に出ていつも通りに生活をしています。

しかし、プミボン国王の存在が非常に大きかったため、これからのタイはどうなるのだろうかと不安な気持ちを抱いている人も大勢いると思います。元々ASEANの中で一番経済が成長していたタイはこの10年間に、政治的混乱の影響で、他の加盟国より遅れる可能性があると言われていました。また、2014年の軍事政権から民政復帰に変える皆が望んでいる民主主義の総合選挙の実施は難しくなるでしょう。

また、私も含むタイの皆が一番心配しているのは今後の王位を継承するワチラロンコン皇太子のことでしょう。ワチラロンコン皇太子はプミボン国王と違って海外で育てら



弔問するために王宮の前に並んでいる人



王宮のプラティナン・ドゥーシット・マハー・プラサート宮殿に
プミボン国王は納棺されている

れ、農村部を訪れることが少なく、国民からの支持は低い。しかし、プミポン国王の崩御後、ワチラロンコン皇太子はタイ国民も自分自身もまだ悲しんでいる状態なので、即位を延期したと話したため、今現在（2016年12月）は国王就任の要請はまだです。

しかし、その悲しみのなかで私は色々なことを感じました。私は政治的な混乱が起こっている社会に育てられたので、子供の時から色々な政治的な活動に参加しました。小さい頃は選挙運動を見に行ったりしましたが、高校生になってから、政治家と話したり、デモにも一回だけですが参加しました。今まで22年間はタイ人の中の対立ばかり感じました。しかし私はそういう社会を望んでいません。デモや政治的な運動を通して、タイ人皆は一つになる日を祈っています。いつも心のどこかでそう思っています。そして、一番来ないで欲しい日が来ました。いつも国民の中心であるプミポン国王の崩御が発表されました。その時に私は国内の混乱が起こるかどうか心配しましたが、周りの人だけではなく、タイにいる友達、それから私が知らない人も「大丈夫。今は辛いだろうが、今私たちタイ人ができるのは皆を愛することだ」とSNSなどにあげました。それは、プミポン国王がかつておっしゃった通りで「タイはタイ人が愛さないと、誰が愛する」。これは大きな変化の始まりで、これからのタイはきっと国民の一人一人の力で強くなり、笑顔でいっぱいになると信じています。

私はタイ人で、プミポン国王の国に生まれて良かったといつも思っています。



王宮の周りはとても静かで門前に兵家が数人いる



バンコクのCentral Worldショッピング・モールに喪中に飾られているプミポン国王の写真



本屋さんではプミポン国王についての出版物がたくさん並ばれている

ご寄付いただいた皆さまへ

この度、いつも温かいご厚意を賜り、誠にありがとうございます。竜の子奨学生を代表して、寄付者の皆さまに心より御礼申し上げます。私たち奨学生はそれぞれ夢を持ち、日本に留学しに来ました。そして、皆様からのご支援のお陰で経済的に困らずに、勉強や研究に専念でき留学生活を送っています。また、交流会を通して日本の文化だけではなく、様々な人と出会ったことで私たちは成長しています。これから自分の夢のため、そしていつか社会に貢献できるように一生懸命頑張っていきたいと思っております。

末筆ながら、重ねてお礼を申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。心から感謝しています。

(平成28年度竜の子奨学生 東海大学 マハウオンウィリヤ・スタシニー)

編集後記

委員長 東海大学 マハウオンウィリヤ・スタシニー

この度は会報誌の委員長を担当させて頂きました。私は以前会報誌の編集経験がありましたが、日本語でやるのは初めてで不安だらけでした。しかし、編集委員や関係者の皆さんのサポートのお陰で貴重な経験になりました。一番良かったと思っ

副委員長 東京大学 王海涛

この度の会報誌の編集に参加させていただき、本当に良い体験になりました。私が担当した部分は第32回交流会のOB・OGからのコメントの編集です。録音された音声から内容を聞き取り文書を作ることは想像より大変でした。よく理解できない部分を何回も聞いた

委員 東京工業大学大学院 朴夏林

今回はじめて会報誌の編集に参加させていただきました。普段文章を書くことが苦手だったので、編集委員の皆様の文章などを見て、学ぶことが非常に多かったです。また編集会議やメールのやり取りを通じてみんなと一緒に仕事することができて本当に楽しかったです。特に今回気づいたことは交流誌の作成には編集委員達だけではなく、竜の子財団

委員 筑波大学 周英貴

今回は編集委員として会報誌の作成に参加させていただき、新しい経験をすることができました。私が担当した部分は竜の子財団の卒業生の皆さんのコメントを文章にする作業でした。聞いた話を文章に起こすことは難しかったですが、その後の編集会議で皆さんと日本語の修正などをする仕事はとて楽しく、すごく勉強になりました。自分が経験して

委員 東京工業大学 郭錦表

この度は会報誌編集に参加させて頂き、大変良い勉強となりました。自分が担当した記事はOB・OG会についてです。原稿を作成しながら、自分の文章力の足りなさを感じる一方でした。少しでも、OB・OG会で自分が感じた雰囲気や内容が皆さんに伝わったら幸いです。また、文書を書きながら、交流会のことを振り返ってみれば、研究でバタバタして

委員 名古屋大学 羅ペイジン

この度、編集委員の一員になることが出来て得がたい経験をしました。他の編集委員の皆さんと一緒に会報誌の内容等についてアイデアを出し合ったり、修正を加えたりする事で印刷物の編集、日本文化、日本語の貴重な勉強となる良い思い出になりました。そのうえ、編集委員の皆さんと会って話したり近況を知ることが出来るのも嬉しいです。皆さん、お疲れ様でした。



第1回編集会議後にて



第2回編集会議にて



第2回編集会議後にて

「その夢はきっと世界を変えていく」
 夢 希望をかなえる為 僕たちは生きている
 その夢はきっと世界を変えていく 平和のため
 いろんな事があるけれども どんなときでも

作詞：竜の子奨学生

作曲：班 文林 (平成21年竜の子奨学生)

仲間とともに乗り越えて 竜の子の誇りを胸に
 夢 希望をかなえる為 みんなは生きている
 その夢はきっと世界を変えていく かならず